



## 東1病棟での事故防止に対する取り組み

当病院で、医療安全管理委員会が発足して、今年で10年になります。事故の内容で多いものが、転倒・転落・損傷で大部分を占めています。

転倒・転落に関して、東1病棟の前年度の集計を見てみると、23時と4時にリスクが高い事が解りました。これは、入眠する前と早朝覚醒の時間帯におおよそ当てはまります。また、夜間は日中よりスタッフの人数が少なくなり、目が行き届きにくいのも原因の一つだと思います。

対策の一部として、見守りの徹底、医師と相談し内服薬の見直し、病室の検討、環境整備等を行い、予防しています。

また、当院も離床センサーを導入し、現在は、転倒・転落の可能性が高い患者様に使用しています。離床センサーを取り入れ、転倒・転落の事故は未然に防ぐことが出来た症例がたくさんあります。しかし、離床センサーを使用しているからとって、見守りを怠ることなく離床センサーは補助的な役割という事を忘れず事故防止に役立てたいと思っています。

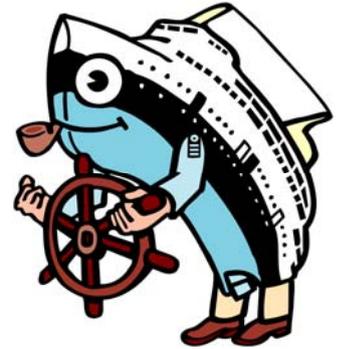
損傷に関しては、皮膚剥離が大部分を占めています。高齢者の皮膚は薄くて、少しの刺激でも傷つきやすくなっています。また、皮



医療安全管理委員

小陣 久寿

下脂肪の低下によって、しわができ、皮膚の張りと弾力がなくなるといった特徴があります。これらの特徴により、皮膚剥離を起こしやすいという事が解ります。対策の一部としては、レッグウォーマーの使用、車椅子にカバーを装着する、移乗時には、2人で介助する等で対応しています。いずれも対策を立てて事故を回避できたこと、対策を立てたにも関わらず、事故が発生してしまった例もあります。その時は再度病棟内でカンファレンスを行いスタッフ皆で試行錯誤し、患者様が安全に入院生活を送れるように努めています。



また、認知症の患者様は思いがけない行動を起こす事があります。特に徘徊時、歩行状態の不安定、夜間睡眠障害、帰宅要求時、興奮時は事故のリスクが高くなるように感じます。その為、常に患者様に目を向ける必要があります。

最後に師長をはじめ、私たち医療安全管理委員は、病棟スタッフ共々、患者様の安全を第一に考え、事故が起こる前の対策もしっかりと立てて、事故を最小限に出来るように努めていきたいと思っています。

御家族の皆様にも御協力をお願いする事があるかもしれませんが、その際は、宜しくお願い致します。

# ご存知ですか？標準負担額減額認定証

事務 鈴木 恵美



医療法人百花会 上野公園病院

通所リハビリ ふきのとう  
 居宅介護支援センターうえの

ホームページアドレス  
<http://www15.ocn.ne.jp/~uenokoen/>  
 E-mail  
[uenokoen-hp@qiga.ocn.ne.jp](mailto:uenokoen-hp@qiga.ocn.ne.jp)

70歳を超える方が病院にかかった場合、その都度医療費の1割又は3割を支払う事になっています。しかし、1ヶ月に負担する医療費の上限額は、患者様やそのご家族の所得に応じて決められており、外来（通院）や入院でその上限額を超えた場合は、役所に手続きをすることで、その差額の払い戻しを受けることができます。（高額療養費）

自己負担額をあらかじめ軽くするためには「標準負担額減額認定証」を病院等の窓口に掲示しなければなりませんので、直接ご家族が役所で手続きをさせていただきます。保険証と違って役所から自動的に送ってくることはありません。



\* 認定証が役所より交付されましたら、至急病院の窓口に掲示をお願い致します。

（申請に必要なもの）・・・健康保険証 ・印鑑 ・減額認定証（今お持ちの方） ・過去1年間に90日を越える入院があれば、日数が分かる領収書など

※低所得Ⅱの方の食事負担額は、90日を越える入院の場合1食につき160円に減額されます。  
 また、保険適用外の診療・差額ベッド代は対象外です。

区分	外来	入院又は世帯合計	食事負担額（1食）
低所得Ⅰ	8,000円	15,000円	100円
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円	210円
一定所得以上	44,400円	80,100円	260円
一般	12,000円	44,400円	260円



## 作業療法だより

今回は6月に植えた野菜と芋畑の手入れについて紹介したいと思います。

7月の大雨で芋の畝は低くなりましたが、芋づるは伸び、他の野菜も順調に育っています。しかし、野菜以上に雑草の勢いがすごく、畑は雑草に占拠されている状態になりました。

そこで、患者様達に草取りや支柱立て、肥料やりを手伝っていただいているところです。日田の夏はとても暑いので、朝・夕の少し涼しい時に日を選んで、熱中症に十分気をつけながら短時間の作業を行っています。

畑で作業されている患者様達は、病棟内にいらっしゃる時と比べ、表情も手際もよく、生き生きと体を動かされています。きっと、私達と同様（いや、それ以上）に野菜や芋の収穫を楽しみにされていることと思います。

これからも暑さには十分気をつけながら、畑の手入れをしていく予定です。

